

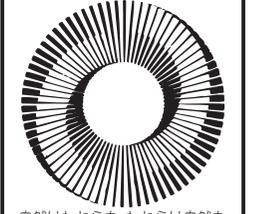


出水の小川と子供たち

春

だいすきいっぱい ぎょえんのもり

谷脇美和



自然はわれらを われらは自然を
絶えまない人と自然の連携を象徴するメビウスの連環。これが息の長い活動が期待される自然保護のシンボルマークに表現されています。

発行人
〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地
☎075-211-6364
財団法人 国民公園協会
京都御苑 加藤博之
編集
白川書院
監修
環境省京都御苑管理事務所
本紙は再生紙を使用しています。

一年生の生活科では、年間を通して御苑をフィールドとして学習を進めています。春の御苑では、富小路広場・出水の小川・寺町御門・母と子の森と様々な場所を訪れ、そこで虫めがねを手に自然探しを行いました。富小路広場では、シロツメ草のじゅうたんの上に寝転がってみたり、花の冠や指輪を作って身に付けたり、オオバコ相撲を楽しんだりしました。始めは恐る恐る寝転んでいた子どもたちも、「やわらかくて気持ちいい」と歓声をあげ、花の冠や指輪の作り方がわからなかった子どもも、教師や友達に教わりながら、自分でやってみようと一生懸命に取り組む姿が見られました。そのうちに子どもたちの方から、新しい遊びを発見し、教えてくれる子どももいました。モンシロチョウを見つけると走って追いかけてたり、夏ミカンの木の下で落ちてこないかと口を開けて見たりするなど、御苑の様々な自然と触れ合いながら自分たちの活動を広げていきました。出水の小川では、黄菖蒲の根元をすいすい泳ぐア



出水の小川で観察する

森では、御苑事務所のメンボを見つけ、水生の大きなミミズに驚き、岩陰のカワニナに歓声をあげていました。梅林・桃林では、青い実を拾い、香りを楽しんでいました。また、自分たちで自然を見つけただけでなく、きのこに詳しい小寺先生（京都自然観察学習会）を招いて一緒に学習したりもしました。ツルタケ・イロガワリ・キクラゲ・サルノコシカケなど様々なきのこを紹介していただきました。また、小寺先生から「きのこは寿命を迎えた木を土へ戻すお仕事をしているんだよ。」「きのこは、木から栄養をもらって雨の降る時に、木に水をあげるんだよ。」と教えていただき、自然の営みのすごさにも大変驚いていました。母と子の



小寺先生のおはなしに耳をかたむける

方、アオバズクの巣を紹介してもらい、その習性についても教えてもらいました。このように、子どもたちは御苑の豊かな自然に触れることや御苑の自然を守る取り組みをされている人とふれ合う体験を重ねることで、御苑の場所やそこに生きている動植物が大好きになっていきました。子どもたちは、活動を振り返って、「自分が一番大きくなったものを紹介しよう！」というめあてをもち、自

分のお気に入りの場所に何度も出かけ、色・形・におい・手触り・模様などの視点で詳しく観察しました。また、もつと知りたいことを本で調べる姿も見られました。学習のまとめとして、自分の「大すき」について分かったことや、調べたことをまとめ、友達と交流したり家族に紹介したりしました。実際に自分が見たことや、観察して分かったことを紹介するので、どの子どもも自信をもって、生き生きと絵に表したり、分かったことをまとめたりしました。当日は「アメンボの泳ぎ方はすいすい平泳ぎみたいですよ。身体の内には白い線が入っています。顔には小さい目が付いていてエビみたいな顔をしています。羽根は茶色で、模様があります。」や「カワニナの殻は、ソフクリームみたいな形で、足は、吸盤みたいなです。足のところにある小さい口がパクパク動いています。ゆつくりのそのそ歩きます。」と見つけたことを、自分の感じた言葉

（御所南小学校 一年担任）

早春の風をうけて高倉橋に佇み、頬をなでる風から春の香りが身に染み込んでいきます。九條池を取り囲んで、新しい芽がふつくと白く輝き、拾翠亭の雨戸に射す陽は春がもうそこまです。理科の学習で来ていることを告げているようです。水面を泳ぐマガモのつがい、が仲睦まじく寄り添い、楽しそうな鳴き声が響き渡っていきます。北校の子ともたたくに、右手前方に燃え輝くように、京都御苑は自然を愛する心情を育て、実感の伴った理解を図るのには、なくてはならない場所になっていきます。

早春の風をうけて高倉橋に佇み、頬をなでる風から春の香りが身に染み込んでいきます。九條池を取り囲んで、新しい芽がふつくと白く輝き、拾翠亭の雨戸に射す陽は春がもうそこまです。理科の学習で来ていることを告げているようです。水面を泳ぐマガモのつがい、が仲睦まじく寄り添い、楽しそうな鳴き声が響き渡っていきます。北校の子ともたたくに、右手前方に燃え輝くように、京都御苑は自然を愛する心情を育て、実感の伴った理解を図るのには、なくてはならない場所になっていきます。



黒木の梅

早春の風

鳥居 万恭

は数羽のメジロが訪れ、甘い蜜を勢よく吸っています。勢い余って花弁を千切るので、う、花びらがひらひらと落下していきます。桜同様、花の命は短く、それだけに多くの虫たちが瞬間を逃がさず訪れ、つかの間、ハレの世界になります。古来、梅と鶯は一对となつて絵に画かれています。メジロの方が的をえていると思いたくありません。鶯色した羽と愛くるしい眼の周りの白が、こちらの眼に残ります。清楚な鳴き声が飛び交うと、呼び起こされるように、この樹木を愛した九條家の人達が脳裏に浮かび上がってきます。公家社会を構成した優雅な顔、あるいは激動を生きた莊厳な顔、それらが錯綜し、梅の香りの中に再び消えていきます。江戸時代に「黒木の梅」を慈しんで眺めていた空間は現在の場所より九條池に近いあたりになるかと思われ、今と変わりますが、この場所が時代を超えた美しさを享受できる空間になっていきます。遠目には御所の建礼門が見え、春風がささやくように通り過ぎていきます。

（財）国民公園協会 京都御苑

春の京都御苑 昆虫の観察

谷 幸樹

春の京都御苑で、多くの花を訪れているセイヨウミツバチを観察してみよう。

ミツバチは、女王バチ、働きバチ、♂バチ、♀バチ、を中に包み込むようになっていて、黄色く

ますが、巣の外で活動するのは働きバチだけです。花粉を集めるために後脚は扁平で、周りに毛が生えて、花粉を中に包み込むようになっていて、黄色く

大きな花粉球をつけているミツバチを探してみよう。蜜は飲み込んで運びます。

針は女王バチ、働きバチにあり、♂バチにはありません。女王バチには、結婚飛行が近づくと、午後になると決まった場所に集まります。交尾できるのは数頭だけです。

ミツバチのコロニーは一匹の女王バチと数百匹の♂バチと一万を越える働きバチとで構成されています。

女王バチは百万個の卵を産卵し、♂バチは交尾するだけです。働きバチは全て早ですが産卵をしないで、巣の拡張、掃除、卵や幼虫の世話、花蜜や花粉の採集や貯蔵などの仕事を



花粉球をつけているセイヨウミツバチ

チの針は、ほとんど使いません。働きバチのように「逆さかき」がついていないので、命をおとすことはありません。一方働きバチは、刺すと針がぬけなくなり、ぬけても体の一部が残って命を落とします。

♂バチは普段は巣の中にいますが、新女王バチが、誕生するところには、結婚飛行が近づくと、午後になると決まった場所に集まります。交尾できるのは数頭だけです。

ミツバチのコロニーは一匹の女王バチと数百匹の♂バチと一万を越える働きバチとで構成されています。

女王バチは百万個の卵を産卵し、♂バチは交尾するだけです。働きバチは全て早ですが産卵をしないで、巣の拡張、掃除、卵や幼虫の世話、花蜜や花粉の採集や貯蔵などの仕事を



(上) クロスジギンヤンマ (下) ヨツボシトンボ

を観察するのに適して、働きバチは羽化後、四週間〜五週間生きるだけです。年間を通じて京都御苑では、三十九種見られます。春に見られるトンボの一部をミツバチの生活は複雑ですが、人間が生活していくのに重要な役割をはたしてくれています。最近では環境の変化で、ミツバチの生活がおびやかされています。

京都御苑には、多くの池がありますが、特にトンボ池では、トンボ

を観察するのに適して、働きバチは羽化後、四週間〜五週間生きるだけです。年間を通じて京都御苑では、三十九種見られます。春に見られるトンボの一部をミツバチの生活は複雑ですが、人間が生活していくのに重要な役割をはたしてくれています。最近では環境の変化で、ミツバチの生活がおびやかされています。

京都御苑には、多くの池がありますが、特にトンボ池では、トンボ

を観察するのに適して、働きバチは羽化後、四週間〜五週間生きるだけです。年間を通じて京都御苑では、三十九種見られます。春に見られるトンボの一部をミツバチの生活は複雑ですが、人間が生活していくのに重要な役割をはたしてくれています。最近では環境の変化で、ミツバチの生活がおびやかされています。

京都御苑には、多くの池がありますが、特にトンボ池では、トンボ

を観察するのに適して、働きバチは羽化後、四週間〜五週間生きるだけです。年間を通じて京都御苑では、三十九種見られます。春に見られるトンボの一部をミツバチの生活は複雑ですが、人間が生活していくのに重要な役割をはたしてくれています。最近では環境の変化で、ミツバチの生活がおびやかされています。

京都御苑には、多くの池がありますが、特にトンボ池では、トンボ

催事案内

■平成23年京都御苑自然教室

一般の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記の通りです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、春の自然を観察しましょう。

春の自然教室 “春の御苑にふれよう”

4月24日(日) 9:30~12:00頃

主催 環境省京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348

財団法人国民公園協会 京都御苑 TEL.075(211)6364

指 導 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。

内 容 春の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

集合場所 京都御苑 閑院宮邸跡前 (京都御苑南西角間之町口)

受付時間 当日 9:00~9:20

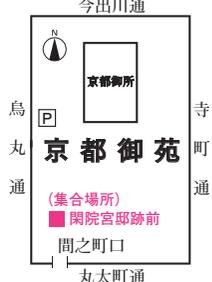
参加費 無料

その他 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があると便利です。

*以降の自然教室予定

夏の自然教室 “夏の御苑にふれよう”

平成23年7月24日(日) 9:30~12:00頃



新緑のトンボ池一般公開

5月20日(金)・21日(土) 9:00~11:30

京都御所春季一般公開

4月6日(水)~4月10日(日)

入場時間 9:00~15:30

入口:宜秋門(ぎしゅうもん)

出口:清所門(せいしよもん)

清所門の最終退出時間は午後4時15分

照会先:宮内庁京都事務所 TEL:075(211)1211

御苑の花暦

和名	開花期	主に見られる場所
ウメ	2月中旬~3月中旬	梅林
モモ	3月中旬~4月中旬	梅林
イトザクラ	3月下旬~4月中旬	近衛邸跡周辺
ヤマザクラ	4月初旬~4月中旬	苑内全域
サトザクラ	4月中旬~4月下旬	出水の小川付近

会員募集

財団法人国民公園協会 京都御苑

年会費 ●普通会員 1,000円以上

●賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

会員への特典

1. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

2. 本会発行物をそのつど送付します。

■申し込み、問い合わせ先

財団法人国民公園協会 京都御苑

住所 京都市上京区京都御苑3

〒602-0881 TEL.075(211)6364

ルール▽社会・集団等が望ましい状態を保つための順序やきまり

横川拓郎

平成十八年八月、福岡市において、飲酒運転の交通事故により、三人の子供の命が奪われるという痛ましい事故がありました。この事故を契機に、飲酒運転関連事件・事故などが重大な社会問題となり、警察による取り締まりの強化はもちろんだが、道路交通法が改正され飲酒運転に対する罰則が強化されました。▼ハンドルの握る者の飲酒運転に対する意識が改めさせられた事故であったと思えます。重大事件・事故が起ると人の意識、考え等が変わる・改善されることの一例です。

▼広い芝生地がある京都御苑では、犬を散歩している姿をよく目にします。ただ残念なことは、リードを付けていない方がいることです。▼京都府の「動物の飼養管理と

愛護に関する条例」で、飼いが人に危害を加えないために散歩においては引綱、鎖等につなぐことと定めています。大人しい犬だから、訓練を受けている犬だから、子犬だから等々の理由からリードを付けて散歩することは、飼育者の責務として問題のある行為です。また、犬の苦手な方が公園に来ているかも知れませんが、リードの取り扱いは必要です。▼平成十九年十二月、九州地方において、飼い主の不注意で逃げ出した犬が人に咬みつけ、ケガを負った事例がありました。

咬傷事故 犬が咬むことで人に危害を与える事故

動物の飼養管理と愛護に関する条例 第5条 犬の所有者等は、飼育犬を、逃げのおそれなく、かつ、人に危害を加えることのない方法で常に係留しておかなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときはこの限りでない。(一)飼育犬を制御することができない者が、その犬を制御できる引き綱、鎖等をつないで運動させ、又は移動させること。(二)四路(京都御苑管理事務所庶務科長)



【良い例】
・リードをつけている

【悪い例】
・リードをつけていない